

福井大学学術交流協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（6月）

留学先：天主教輔仁大学

氏名：柳浦 千春

・はじめに

こんにちは。台湾は5月より気温が落ち着き、雨が降る時もありましたが、過ごしやすい気候となりました。今月の18日には、日本の端午の節句にあたる端午節という祝日がありました。長いように感じた留学生活ももう今月で終わってしまうと思うとあっという間だと感じます。今月の報告では、期末試験についてと、端午節、留学を終えてどう感じたかについて報告しようと思います。

・授業

台湾の歴史の授業では期末のグループプレゼンテーションがありました。私のグループでは台湾の髪型や服装などのファッションの変遷について話しました。台湾のファッションには、年代ごとに流行があり、日本や欧米のファッションから影響を受けていることが多く、調べていて面白かったです。例えば80年代には強いパーマのかかった髪型や、パンクファッションが流行していて日本のバブル時代と似ているなど感じました。他のグループの発表の中では、台湾の昔ながらの子ども遊びについてというテーマが面白かったです。日本の缶蹴りに似た遊びもあり親近感を感じました。台湾出身のひとにしか分からないようなことを知ることができた貴重な機会になりました。

6月の最終週は期末試験期間でした。台湾では試験で青ボールペンを使うのが一般的ですが、シャープペンシルやボールペンでも受けることができ安心しました。期末試験も中間試験と同様に、いままで課題や授業中にしたクイズからの出題が多かったため、助かりました。マネジメントの期末試験では、日本と違い、解答用紙に自分で回答欄を作らなければならない、台湾の試験は自由であるなど感じました。中国語の試験では筆記試験、口頭試験がありました。口頭試験はうまく答えられるか不安だったのですが、紙を見なくても簡単なことであれば言いたいことを自分の言葉で話すことができ、台湾に来た当初は中国語をあまり話すことができななかったことを考えると、少しだけ中国語の伸びを感じました。これから、中国や台湾の新聞やニュースを意味が分かりながらチェックしていきたいので、留学を通して覚えた中国語を忘れないようこれからも時間を作り復習し、余裕があれば新しい文法を勉強してみたいと思います。期末試験週の前週には授業が次々と終わっていき、先生やクラスメイトとお別れするのが寂しかったです。台湾での先生や現地学生との出会いだけでなく、さまざまな国から来た留学生や同じ日本人留学生との出会いも大切にしたいと思います。



・端午節

最初の部分でも触れましたが、18日は旧暦の5月5日にあたり、端午節という祝日でした。旧正月の春節、中秋節と並び、端午節は一年で最も大切な三大節句の一つです。台湾では、端午節に粽子という笹の葉にくるまれたおこわを食べたり、端午節当日の昼12時には卵を立てる立蛋が行われたりします。なぜ粽子というおこわを端午節に食べるようになったのかという話には、楚の王族であった屈原と深い関係があります。屈原は要職に就くも、官僚の妬みにあい失脚、左遷し、汨羅（べきら）の淵に投身自殺してしまいます。そして、屈原の死を悼んだ住民たちが命日の5月5日に供養として竹筒に米を入れその淵に投げ込みます。それは屈原の体が魚や龍に食べられないようにするために投げ入れる厄除けとしての役割もありました。（とらや公式ホームページより引用 [https://www.toraya-](https://www.toraya-group.co.jp/toraya/bunko/historical-personage/048/)



[group.co.jp/toraya/bunko/historical-personage/048/](https://www.toraya-group.co.jp/toraya/bunko/historical-personage/048/)) 中国語の授業でこのエピソードを聞いたのですが、調べてみると日本でも厄除けとして粽を用意した歴史があり、台湾と共通する部分があることが面白かったです。こどもの日である日本の端午の節句と違い、台湾の端午節には毎年ドラゴンボートレースが行われます。約10人乗りの大きく長い龍の形のボートを漕いで速さを競います。台北では大佳河濱公園で月曜の端午節当日まで土日から3日間、水岸台北2018端午カーニバルが行われていると知り、見に行ってきました。想像していたよりも、龍のボートが長く、カラフルで、ボートの先頭に太鼓が乗っているのが面白かったです。いくつかレースが行われたのですが、どのレースも熱戦で迫力があり見応えがありました。

・留学を終えて

半年間の台湾への交換留学は本当にあっという間に過ぎていきました。今回の台湾への留学を通して留学前に設定していた英語を高めるという目標を英語科目を無事履修し終えたことによってやや達成することができ良かったです。簡単な会話であれば中国語を話せるようになり、当初中国語を話すことをためらっていたことを考えると成長を感じました。台湾での生活は最初、生活文化の違いなどに戸惑うこともありましたが、すぐに慣れることができ、寮生活は初めてでしたがルームメイトや他の留学生の人たちと情報交換しながらなんとかうまくやれることができました。留学での貴重な経験と多くの人々との出会いを大切にこれからも頑張っていきたいです。

半年間報告書を読んでいただきありがとうございました。